

発行：大学 e ラーニング協議会 広報委員会
委員長：澤井 富士夫（帝塚山大学）

1. 会長 ご挨拶

会長 穂屋下 茂（佐賀大学）

大学は、学生らが将来何をしたいのかすべきなのか目的を定め、未来に向かって有意義な学生生活を送ってもらいたい、もっと自分の学力を知り、主体的に学修して卒業時の学士力や就業力等を高めてもらいたいと願っていると思います。社会も、学士課程教育において「学生のための教育改革」「教員の質を変える教育改革」への本格的な転換を求めています。「教育の質的転換への好循環」を確立させるためには、教員や職員の手間を極端に増やさずに運用できる ICT ツールを全面的あるいは部分的に導入する必要があります。

そのような時勢の中で、8校の連携大学は大学間連携共同教育推進事業「学士力養成のための共通基盤システムを活用した主体的学びの促進」において、プレイスメントテスト→eラーニングによる主体的学び環境→到達度テストの学修支援を可能にした共通基盤システムを構築してきました。この事業は平成28年度で一旦終わりになりますが、大学 e ラーニング協議会の会員校にも大きなメリットがありますので、平成29年度から大学 e ラーニング協議会で可能な限り継続を支えていく方向で動いております。

この事業成果を、eラーニングをもっと活用したい大学、eラーニングを使いたいけど ICT 活用に強くない大学等にも是非利用していただきたいと思っております。大学 e ラーニング協議会の会員校は、条件を満たせば利用することができます（詳しくは、大学 e ラーニング協議会事務局まで問い合わせください）。

最後にお願があります。現在、大学 e ラーニング協議会の会員校は44校になりましたが、活動をより活発にするためにもっと増やしたい、できれば倍増したいと願っております。是非、皆様方から未加入の大学の先生方をお誘いいただけたらと思います。ご協力のほど、よろしくお願い致します。

2. 2016 年度代表幹事校 ご挨拶

2016 年度代表幹事校
帝塚山大学

2016 年度は、帝塚山大学が代表幹事校を担当させていただきます。至らない点も多いかと思いますが、当協会発展のために全力を尽くしたく存じます。会員大学の皆様には、引続きご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

今年度の総会・フォーラムは、2017 年 3 月 17 日（金）に開催予定です。詳細が決まりましたら、メール等でお知らせいたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。また、翌日は NPO 法人 CCC-TIES のシンポジウムを予定しておりますので、併せてご参加くださいますよう、予定の調整をしていただければ幸いです。

2017 年 3 月 17 日（金） 幹事校ミーティング、UeLA 総会・フォーラム、情報交換会
2017 年 3 月 18 日（土） NPO 法人 CCC-TIES 理事会・シンポジウム

【2015年度 運営体制】

■会長：穂屋下 茂（佐賀大学）

■代表幹事校：帝塚山大学

■監査校：岩手県立大学

■事務局校：佐賀大学

■幹事校：岩手県立大学 愛媛大学 大手前大学 金沢大学 熊本大学 佐賀大学 信州大学
創価大学 千歳科学技術大学 帝塚山大学 山梨大学

3. 総会・フォーラム 2015 開催報告

2015 年度代表幹事校
信州大学

3月17日（木）、総会・フォーラム 2015 が信州大学の長野（教育）キャンパスを会場に開催されました。

「高大接続を見据えた ICT 活用」をテーマに、基調講演には中央教育審議会前会長、高大接続システム改革会議座長である独立行政法人日本学術振興会理事長の安西祐一郎氏をお迎えしました。また、長野県高等学校関係者による招待実践報告や、各大学・企業によるポスターセッションなど県内外の 23 大学をはじめ 100 名を超える来場者がありました。

安西祐一郎氏は高大接続について「入試改革ではなく教育改革である」「多様な人々と協働して学ぶ態度の養成は、高大接続で初めて入ってきた」と話され、「結果の採点ではなく、どういう思考プロセスで解いているかを評価する」「仮説が与えられている多肢選択問題ではなく、仮説を自分で創るような記述式を一部導入することが、高校教育にも良い影響を与えるのではないか」、また「高等学校基礎学力テストは、高校生一人一人の学習の改善と高校の指導の改善に使って欲しい」と語られました。「子どもたちに幸せな人生を送って欲しい」そのために「時代や社会が変わっても、その中できちんとご飯を食べていけるように」という言葉が印象的でした。

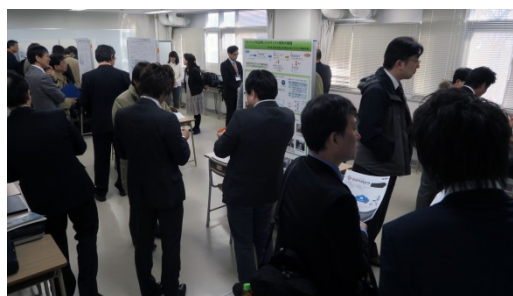


続いて「高等学校での ICT を活用した遠隔授業の試み」について長野県教育委員会事務局の松原雄一氏と佐久平総合技術高等学校の長原正夫氏にご発表いただきました。高等学校を結ぶネットワーク環境整備、実際の遠隔授業の様子が紹介されました。

離れたキャンパス間で、デザイン科の生徒と工業科の生徒が協働してベンチの制作を進める様子などが披露されました。

ポスターセッション会場では 14 テーマの発表があり、反転学習やリメディアル教育、コンピュータによるテストの工夫、e ポートフォリオによる振り返りや修学指導など、学力保障への取り組みや主体的な学びへ導くための構想が発表されました。大学教育のみならず高等学校教育にも視野を広げ、新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた教育改革について考えるフォーラムとなりました。

ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。



4. 2016 年度事業予定

1) 幹事校ミーティングのご案内

本年度第1回 (予定)

日時 2016年9月8日(木) 午後

会場 山梨大学(山梨県甲府市武田4丁目3-11)

本年度第2回 (予定)

日時 2016年12月3日(土) 午後

会場 桜の聖母短期大学(福島県福島市花園町3-6)

本年度第3回 (予定)

日時 2017年3月17日(金)

会場 帝塚山大学 東生駒キャンパス(奈良県奈良市帝塚山7-1-1)

2) e-Learning Awards 2016 フォーラムへの出展

開催時期: 2016年10月26日(水)~28日(金)

<http://www.elearningawards.jp/>

会場: 御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター

(JR 御茶ノ水駅聖橋口から徒歩1分・東京メトロ新御茶ノ水駅直結)

<http://solacity.jp/cc/>

・上記フォーラム内での出展

出展時期: 同上

出展内容: 8大学連携事業(大学間連携共同教育推進事業)で制作された教材とそれらを利用するためのシラバスやルーブリックなどの紹介とデモ

・日本 e-Learning 大賞

8大学連携事業(大学間連携共同教育推進事業)で制作された教材と、それらを利用するためのシラバスやルーブリックなどの作成と、運用に関する取り組みで応募

3) 総会・フォーラム 2016 の開催

日時 2017年3月17日(金)

会場 帝塚山大学 東生駒キャンパス(奈良県奈良市帝塚山7-1-1)

5. 協議会による書籍刊行のご案内

書籍名: 大学における e ラーニング活用実践集

Building a System of Developmental Education
at Universities and Colleges in Japan 2

出版社: ナカニシヤ出版

発行: 大学 e ラーニング協議会、日本リメディアル教育学会(監修)

内容: 高大接続システム改革に代表される日本の高等教育改革では、学修成果の可視化や、それに基づく能力評価など教育の質保証に向けた取組が求められています。こうしたことの実現のために、ICT 活用教育への期待が急速に高まっています。

しかし、ICT 活用を各大学で組織的に行うためには、人的及び費用的なコストもかかり、教育ノウハウも



広く共有されていないため、教育方法として一般に認知されている状況ともいえません。

そこで、本著書では、大学 e ラーニング協議会と日本リメディアル教育学会が共同監修し、大学での実践的な ICT 活用事例を取りまとめました。

第一部では、ICT 活用教育を支えるシステムやコンテンツに関する一般的な解説を、各分野の第一人者の先生方にご執筆頂きました。第二部では、入学前教育、初年次教育、学部教育課程、キャリア教育といった大学の実際の教育プログラムで ICT がどのように活用できるかを事例ベースで紹介頂いています。そして第三部では ICT を大学として運用するためのノウハウについて紹介頂きました。

これから大学として e ラーニングを活用して入学前教育を実践しようとしている大学、初年次やキャリア教育で反転学習的に e ラーニングを活用しようとしている大学、また e ポートフォリオを活用してコンピテンシーの可視化を図りたい大学の皆さんには大変参考になる図書です。是非、ICT を活用した教育手法・システム・内容について触れて頂き、各大学での教育実践の参考にして頂ければ幸いです。

6. 事務局からのご案内

■会費納入のお願い

2016 年度の会費納入をよろしくお願ひいたします。

振込口座 銀行名：北洋銀行 支店名：千歳中央支店 口座番号：普通 4126901

口座名義：ダクイラーニングキョウカイ

大学 e ラーニング協議会

■部会登録の確認

当協議会の活動の柱である部会の構成を本年度より変更いたしました。つきましては、加盟校の皆様へ、どの部会での活動に登録されるかをメールにてお知らせいただくようお願いしております。ご連絡いただいた加盟校は、随時部会への登録を進めております。まだ回答されていない加盟校の方は、登録を希望する部会を事務局までお知らせください。部会案内 URL <http://www.uela.org/section.html>

■加盟大学イベント案内

加盟大学主催のフォーラム等の案内を当協議会ホームページ上でご案内させていただいております。掲載を希望する大学は事務局までご連絡ください。

加盟大学イベント案内 URL <http://www.uela.org/src/activity/activity.html>

※ 協議会加盟大学の皆様で学会表彰を受けられたニュース等もニューズレターに掲載させていただきますので、このような情報がございましたら是非お寄せください。

大学 e ラーニング協議会ニューズレター NO. 13 (2016年7月15日 発行)

事務局：佐賀大学 全学教育機構 穂屋下研究室

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

連絡先：フォーム <http://www.uela.org/reference.html>

E-mail uela_offices@googlegroups.com

FAX 0952-20-4731

※ できるだけフォームまたはE-mailにてご連絡ください

大学 e ラーニング協議会：<http://www.uela.org/>